

MIBIの集積程度は治療効果をよく反映していた。

13. $^{99m}\text{Tc-HM-PAO}$ および $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ の腫瘍集積性に関する基礎的、臨床的検討

大塚 信昭	三村 浩朗	森田 浩一
小野志磨人	永井 清久	曾根 照喜
柳元 真一	友光 達志	福永 仁夫
		(川崎医大・核)
亀井 健	宗盛 修	今井 茂樹
梶原 康正		(同・放診)
平塚 純一	今城 吉成	(同・放治)

各種血流イメージ剤は腫瘍シンチグラフィとしての可能性を有している。脳血流シンチグラフィ製剤である $^{99m}\text{Tc-HM-PAO}$ と心筋血流シンチグラフィ製剤である $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ の腫瘍シンチグラフィ製剤としての有用性を家兎 VX-2 癌を用いて比較検討した。VX-2 癌を大腿部に移植後、10 から 20 日目の種々の腫瘍サイズの担癌家兎 6 羽について、初期像(5分後)と後期像(50分後)における軟部組織に対する腫瘍集積比を算出した。 $^{99m}\text{Tc-HM-PAO}$ は $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ に比して初期集積率は高く、また washout も遅れることが示され、腫瘍集積性に対する両薬剤の違いが示唆された。 $^{99m}\text{Tc-HM-PAO}$ 、 $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ とも肺癌を含めた腫瘍シンチグラフィとして有用であり、臨床的応用が望まれる。

14. 乳房の malignant lymphoma——特に核医学的診断法について——

西山 佳宏	辻 次郎	薄井 順子
余田みどり	川瀬 良郎	川崎 幸子
大川 元臣	田邊 正忠	(香川医大・放)
松野 慎介		(滝宮総合病院・放)

乳房の悪性リンパ腫 3 例に ^{67}Ga および $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ シンチグラフィを施行し、その診断的意義について検討した。 ^{67}Ga シンチグラフィはいずれも集積が認められ、また再発巣にも集積を認め、術後の経過観察に有用と思われた。 $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ シンチグラフィも集積を認め、乳房の悪性リンパ腫に集積する可能性が示唆された。さらに SPECT を施行することにより

存在診断が容易になると思われた。 $^{99m}\text{Tc-MIBI}$ の撮像開始は ^{67}Ga と比べ早く、早期に診断が可能であり、また正常乳腺への生理的集積がなく、乳腺腫瘍と正常乳腺との重なりがないため診断は ^{67}Ga と比べ分かりやすかった。

15. 乳癌患者における $^{99m}\text{Tc-MDP}$ を用いた乳房 SPECT

寺島 正子	秦 康博	吉村 尚子
赤木 直樹	小川 恭弘	吉田 祥二
		(高知医大・放)

乳癌への $^{99m}\text{Tc-MDP}$ 集積はしばしば planar 像でも見られるが、われわれは 8 例の乳癌患者を対象として、SPECT を使用して評価を試みた。

Planar 像では乳房への集積がない症例でも SPECT を用いることで、病変部への集積が明瞭になった。また、腫瘍の大きいものほど病変部への集積が増える傾向を示し、石灰化があるものでより強く集積した。治療後 2 年たっても乳房に集積する false positive の症例も見られた。 $^{99m}\text{Tc-MDP}$ 投与後 40 分以内の像では乳癌の 95% に集積すると言われているが、放射線・化学療法後の患者での 30 分での早期像では集積が著明であったが、3 時間後の像では集積は消失しており、治療によって、腫瘍内のミネラルの代謝に変化がおこったためと考えられ、早期像が腫瘍内代謝を反映する可能性が示唆された。

16. 悪性胸腺腫瘍における腫瘍シンチグラフィの意義

小林美登利	岩宮 孝司	橋本 政幸
仙田 哲朗	周藤 裕治	遠藤 健一
西尾 剛	太田 吉雄	(鳥取大・放)
中村 廣繁		(同・二外)

悪性胸腺腫瘍 5 例(浸潤性胸腺腫 3 例、胸腺癌 2 例)に対し ^{201}Tl および ^{67}Ga 腫瘍シンチグラフィを施行し、その集積パターンと手術または生検でえられた組織所見の対比を行った。浸潤性胸腺腫では全例 ^{201}Tl の強い集積が認められたが、胸腺癌では ^{201}Tl の集積は軽度であった。 ^{67}Ga の集積は胸腺癌で強く、肝転移巣への集積も認められたが、浸潤性胸腺腫で